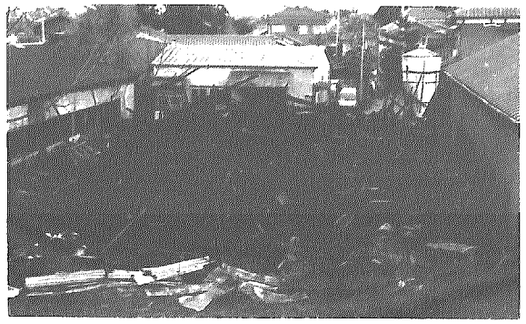
# 年末に火災2件発生
# 火の取扱いに十分ご注意を

昨年十二月に沢海地区と小杉地区であいついで二件の作業所火災が発生しました。懸命の消火活動により類焼は避けられ、最小の被害で済みました。

住民のみなさんも普段から火災には十分注意されていることと思いますが、今回の火災の原因は火の後始末の不備と漏電でした。万が一に備え、火の取扱いに十分注意するとともに、電気器具の使用の際に変な匂いがするというように異常を発見した場合は、いち早く点検に努めてください。

火災が発生した場合に大切なことは、初期消火です。いち早く119番通報をするとともに、近隣に火災発生を呼びかけ初期消火に努めてください。この度は消防署員が駆けつけるまでの間の地域住民、地元消防団の初期消火が功を奏しました。



## 消防団員の確保に協力を

今回の火災の際も、地元消防団により初期消火、火災鎮火後の再発火防止のための現場管理が夜を徹して行われました。火災や風水害など、災害から地域を守るための活動が消防団の任務です。

しかし、最近ではこの消防団員の確保が難しくなっています。横越町だけではなく、どこの地域でも若者の消防団離れが問題になっています。「なぜ地域のために自分が夜や休日まで時間を割かなければならないのか」という考えが増える傾向にあります。

最近、ボランティア活動が脚光を浴びていますが、自分たちの地域は自分たちで守るということが防災の基本です。消防団の活動はまさにボランティア活動なのです。お互いが住み慣れた地域で安心して暮らすために、自分で何ができるかを考えてください。

これから四月の消防団員の入替えにむけ、消防団員の勧誘に伺った際は快くお引き受けくださるようお願いします。

## ～無火災祈願マラソン実施～

一月四・五日の両日、亀田町消防署横越町分署の署員が『無火災祈願マラソン』を実施しました。

このマラソンは、地域住民と消防署が一体となって、今年は横越町が無火災であり、「安全で安心して生活できる町」となることを願って実施したもので、今年で二回目となりました。

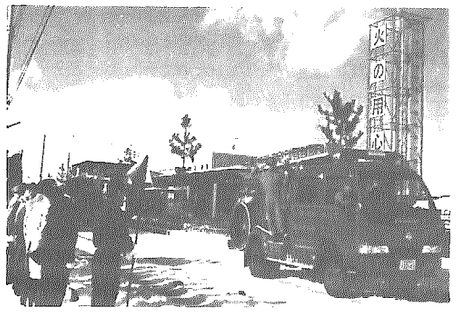
出発にあたり、浅見町長から「住民の生命と財産を守るためには、日頃の訓練が大切であり、みなさんの責任は重大です。火災予防のアピールとともに、一層の精進を願います」と激励の言葉があった後、署員十九名が消防車の先導のもと、町内をマラソンしながら「火の用心」を呼びかけ、途中、町内十八カ所の神社を参拝し、火災が起きないよう祈りました。

## ～消防団出初式実施～

一月十日、横越町分署で横越町消防団の出初式が実施されました。

式には、南警察署長や各地区の代表区長などの来賓ほか、各分団の団員、消防署員などおよそ七十名が出席。田村団長から「昨年の豪雨と火災では、地域と署員、団員のみなさんの活躍により、被害を最小限に防ぐことができました。町から災害をなくすため、今後も一層努力を重ねてもらいたい」と訓示があったほか、町長、議長などからも激励のあいさつがありました。

続いて、署員・団員が消防車や積載車などに乗り込み、およそ一時間半をかけて町内をパレードし、火の用心を呼びかけました。その後、中学校前の用水路で放水訓練を行い、サイレンを合図に、一斉に水のアーチが用水路上に描かれました。



消防自動車等によるパレード

走りながら火の用心を呼びかける署員たち

# 町長賞は 清水 政一さん（加茂市）
## ～第9回景観再発見写真コンテスト～

一月十一日、第九回横越町景観再発見写真コンテストの審査会が、役場にて開催されました。

今回の作品のテーマは「人と町」で、二十九名の方から百一点の応募があり、日本写真家協会員の弓納持福夫先生をはじめ、浅見町長、JA亀田郷みなみ、商工会、北方文化博物館、新潟フジカラーなどの関係者によって審査を行った結果、「お花畑」と題した作品を応募した清水政一さんが町長賞を受賞されました。

審査の講評としては、『テーマである「人と町の関わり」をよくとらえており、私でも表現するのが難しい作品が多数あった。田園風景や、農産物の収穫をとらえた作品がもっと欲しかったが、全体としては偏りが少なく素晴らしい作品ばかりだった（弓納持先生）』とのことでした。

また、今回の入賞作品の展示会を、二月二十八日まで北方文化博物館の屋根裏ギャラリーで行なっておりますので、是非ご覧ください。（屋根裏ギャラリー見学は無料です）

なお、町長賞以外の入賞者は次のとおりです。

観光協会長賞
本間　一人（横　越）
佐藤　稔（横　越）
JA亀田郷みなみ組合長賞
田浦　新吾（新潟市）
北方文化博物館長賞
渡辺　国松（横　越）
富士フィルム賞
佐藤　守（新潟市）
新潟フジカラー賞
市村　文雄（横　越）
優秀賞
村山　雅人（新潟市）
藤井三津夫（横　越）
斉藤　光一（横　越）
野瀬山信夫（沢　海）
入選
吉水　巽（新潟市）
佐藤　成夫（新潟市）
斉藤　光一（横　越）
清水　政一（加茂市）
新田見光雄（横　越）
梅沢　岩一（新潟市）
野瀬山信夫（沢　海）
村山　勇（新潟市）
川崎　久松（新潟市）
藤井三津夫（横　越）

# 新潟県共同募金会募金事業のご協力に感謝します

皆様からご協力いただきました赤い羽根共同募金（十月実施）、歳末たすけあい募金（十二月実施）につきまして、おかげさまで目標を達成することができました。深く感謝申し上げます。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

**平成10年度共同募金会募金総合計**

| |
|---|
| 3，250，906円 |

**赤い羽根共同募金（10月実施）実績額**

| 区　分 | 金額（円） |
|---|---|
| 目標額 | 2,039,000 |
| 実績額 | |
| 戸別募金 | 1,721,334 |
| 企業募金 | 715,000 |
| 無人募金箱設置募金 | 16,317 |
| 保育園児募金 | 1,217 |
| 小学校児童募金 | 17,996 |
| 中学校生徒募金 | 5,242 |
| 企業等職域募金 | 8,150 |
| 合　計 | 2,485,256 |
| 達成率 | 121.9% |

**歳末たすけあい募金（12月実施）実績額**

| 区　分 | 金額（円） |
|---|---|
| 目標額 | 550,000 |
| 実績額 | |
| 戸別募金 | 765,650 |
| 合　計 | 765,650 |
| 達成率 | 139.2% |

**募金配分予定表（使いみち）**

| 主な使いみち | 金額（円） |
|---|---|
| ・平成11年4月からの事業として | |
| 、県内の福祉活動推進事業費として | 639,000 |
| 町内の主な福祉活動推進事業費として | |
| 児童・青少年福祉事業費 | 175,000 |
| 老人福祉事業費 | 73,000 |
| 障害児・者福祉事業費 | 175,000 |
| 母子・父子福祉事業費 | 75,000 |
| 福祉推進事業費 | 1,348,256 |
| ・平成10年12月の事業（歳末慰問）として | |
| 町内在住者の施設入所者 | |
| 長期入院者慰問金 | 92,000 |
| 一人暮らし老人世帯慰問金 | 240,000 |
| 長期寝たきり老人慰問金 | 190,000 |
| 長期寝たきり老人家族慰問金 | 190,000 |
| 重度心身障害1級程度の児者慰問金 | 315,000 |
| 合　計 | 3,512,256 |

※なお、平成10年12月の歳末慰問事業において不足した金261,350円は、町社会福祉協議会にて補てんの上、事業を実施しています。